

転写水の効果と作り方

2018年4月に超希釈尿療法と共に転写水について、この欄で少し取り上げました。どのような効果が出てくるのか、症例を見てみましょう。

インコの羽毛のアレルギーによりあちこちに湿疹ができて、痒いが、インコは手放せないAさん。食物のアレルゲン除去はできても、インコの羽毛アレルギーは、耐えるしかない。そこでインコの羽毛を持ってきていただき、転写水を作りました。塗布したところから痒みと湿疹が引いてきました。

家族のかわいがっているネコの毛で身体中にアトピー性皮膚炎を起こしているBさん。ネコを捨てることも、自分が出ていく事もできずに、強いステロイドの外用でも、コントロールしづらい状況でしたが、ネコの毛の転写水の内服、外用でネコの毛による皮疹は無くなりました。

奥歯の治療でインプラントを行った後、チタンのアレルギーが発症、違和感や腫れ、痛みが続き、きちんと噛めず、困っていたCさん。他の治療でもうまくいかず、インプラントに使用した同じものを入手し、それで転写水を作り服用やうがいをしました。続けていると程なく、症状が消失し、インプラントの有難さが、やっとわかったといわれます。

これらのように、原因がはっきりわかり、原因になるものが入手できる時は超希釈尿療法よりも、転写水の方が、ぴったりと、その症状に効果があります。もちろん、単一のアレルギーの方は少ないですから、超希釈尿療法と併用しても、何ら問題はありません。

さて、その作り方ですが、超簡単なのです。ビンかペットボトル（ビンの方がよいのですが）に、浄水器の水か、購入したミネラルウォーターを半分ほど入れて、アンデスの塩を少量（耳かきにすりきり1杯程度）入れ、そこに、原因になっているものを、ビニールかラップに包むか、小さなガラス容器に入れ、水を入れた容器のふたの所に、決して水に混入しないようにして、激しく振ります。100回以上振ってください。これで出来上がりです。

作った水は、原因となっているものの症状を消すように働きます。飲んだり、塗ったり、うがいをしたり、目や、鼻を洗ったり、いかようにも使えます。ただし、水ですので、その日のうちに使ってください。量や回数の制限は、ありません。水の制限を受けている方は、その指示に従ってください。

文章では作り方が分かりにくいという方は、外来でお作りしますので、その旨、お申し付け下さい。

鈴木富美